

第2回 横浜市港南区民文化センター指定管理者評価委員会 議事メモ

開催日時	令和7年1月27日（金） 13時30分から14時30分まで
開催場所	港南区役所 601会議室
出席者	佐藤委員（横浜市立大学国際教養学部 教授） 太下委員（同志社大学経済学部経済学科 教授） 宮田委員（東京地方税理士会横浜南支部 税理士） 菅原委員（港南区ひまわり管弦楽団事務局 監査） 小川委員（港南区「街の先生の会」）（計5名）
欠席者	なし
開催形態	非公開
委員 意見等 ・審議結果	<p><b>1 横浜市港南区民文化センター指定管理者に対する評価</b></p> <p>【1 事業計画】</p> <p>【使命1】文化芸術の活動と体験の場となる →意見なし。B評価</p> <p>【使命2】文化芸術活動を担う人材を育む →意見なし。B評価</p> <p>【使命3】文化芸術の鑑賞の機会を提供する 〈委員〉クラシックだけでなく、他の文化芸術分野での活用がもっと図られるとよい。 →A評価</p> <p>【使命4】幅広い人を文化活動に受け入れ、地域の力を結びつける →意見なし。B評価</p> <p>【使命5】持続可能性を高める施設運営を行う →意見なし。B評価</p> <p>【使命6】新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する</p> <p>〈委員〉コロナ禍では、会場の椅子など利用者が消毒をしなければならず大変だった。 〈事務局〉市からの統一的な見解に基づき利用者をお願いしているもの。区民文化センター以外に港南公会堂等も同様の対応をお願いしている。</p> <p>〈委員〉パートナー団体やアーティストバンク等の地域を応援する取組はよいと思う。どのようになっているのか、ボランティアの状況をあわせて詳しく教えてほしい。 〈指定管理者〉アーティストバンクの登録を始めてから1年あまりが経過して、現時点では20名ほど登録しており、プロやセミプロもいる。クラシック、ギター、パフォーマーも登録していて、「ひまわりの郷」の事業に留まらず活動している人もいる。また、ボランティアは20名ほど登録していて、自主事業の裏方としてお手伝いしてもらっている。音楽や芸術に興味がある方が多く、最近は高校生や大学生のような若い方々も増えてきている。</p>

〈委員〉オープンスペースへの掲示について、学校の部活動で制作した物を掲示することはできないのか。

〈指定管理者〉コロナ前は椅子等を置いていたが、その運用が難しくなったため作品展示での運用に変えた。現時点で3回くらい展示を入れ替えている。音楽に限らず、美術など広く芸術支援をしていく必要があると考えているので、ご意見として参考にしたい。

## 【2 収支計画及び指定管理料】

【利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の運用方法の考え】

→意見なし。B評価。

【指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力】

〈委員〉期待を込めてC評価とした。掘り下げて分析する必要がある。事業の形を変えるのか、違う内容を実施するのか。経費節減も大事であるが、収入増の取組を検討する必要がある。

→B評価。

【5年間の収支及び収支バランス】

〈委員〉収支比率を念頭に置きながら新しい事業を展開する等の工夫が必要である。

→B評価。

【3 施設の運営】

【施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用】

→意見なし。B評価。

【市の重要政策課題への対応】

→意見なし。B評価。

【総合評価】

〈委員〉B評価。コロナ禍で制約が多い中ではあったが、しっかり取り組まれている。期待を込めたコメントもあるので、今後も頑張ってほしい。

〈委員〉文化祭のようなイベントはアクセントになるし、地域の人に知ってもらえる機会になる。四季にあわせたイベントを立ち上げ、年間スケジュールを示すことでより区民の関心をひくことができるのではないかと。

〈委員〉B評価。課題が残った案件については、分析し目標を達成できる事業を展開してほしい。

〈委員〉B評価。高齢者が増えていく中で、ひまわりの郷に行くことをあきらめることなく通い続けたいと思えるような運営を考えてほしい。

ホールの音響が良い施設なので、クラシックホールとしてどんどん活用してほしい。上大岡という立地から、特に三浦方面など市外の方にも多くの需要があると思う。

〈委員〉恵まれた立地をいかして事業を展開してほしい。実際に施設を利用している方からの意見も参考にして、今後の施設運営にいかしてほしい。

〈委員〉文化・芸術分野は数的に評価できない要素もあり、評価が難しい。わかりやすい評価の仕方はないのか。

	<p>〈事務局〉評価委員会では、指定管理者が公募時に提案した内容が履行できているかどうかを評価する。取り組む項目が施設によって異なるため、評価指標を一律に決められない部分もある。アンケートで利用者満足度をはかる等、数値指標でとれるものもあるが、数値化しにくい項目があることも認識している。</p>
その他	<p>本日の議論を踏まえて、事務局が改めて評価報告書案を作成のうえ、委員に確認を依頼し、その後公表予定。</p>